

白山市松任ふるさと館

(旧吉田茂平邸)

「松任ふるさと館」は、明治・大正・昭和期にわたり、金融、米穀、倉庫業等の分野で活躍した吉田茂平氏の私邸で、元々は市内安吉町にあったものを、大正元年に交通の要衝である現在の場所に移築され、昭和57年10月に、当時の松任市（現白山市）がこの邸地を譲り受け開館しました。

正面玄関廻りは総檜造り銅板葺きの平唐門など、宮大工の手による落ち着いた意匠が施されているほか、主屋内部は朱塗壁の格式高い書院造りの間や、数寄屋風の化粧軒天井など、材料にお金をかけた「普請道楽」ともいえる、大規模で質の高いつくりとなっています。

主屋、門及び両側物置は、平成13年10月に国の登録有形文化財に指定され、松任中川一政記念美術館・千代女の里俳句館とともに文化・芸術を基調とした駅前緑地広場の中心施設として、四季折々の景観を楽しむことができます。



文部科学省登録有形文化財

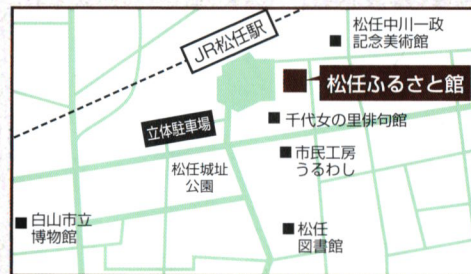
白山市松任ふるさと館

利用案内

- 開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／毎週月曜日(祝休日の場合は次の平日)、年末年始
- 入館料／無料 ※部屋使用については別途料金

交通案内

- 電車／JR松任駅 下車南口から徒歩1分
※普通列車で金沢駅から11分、小松駅から20分
東・京～金沢 北陸新幹線かがやき 約2時間30分
大・阪～金沢 特急サンダーバード 約2時間30分
名古屋～金沢 特急しらさぎ 約3時間
※東海道新幹線米原乗換約2時間30分
- 飛行機／小松空港からJR小松駅経由でJR松任駅下車
- 車／北陸自動車道白山ICから約10分
※松任駅南立体駐車場に駐車で3時間無料
- バス／北鉄バス「松任」
経由の路線利用
※「松任」停留所から徒歩約5分



白山市 松任ふるさと館

TEL.076-276-5614

〒924-0885 石川県白山市殿町56番地

URL <http://www.city.hakusan.ishikawa.jp>

松任ふるさと館

検索

白山市

松任ふるさと館



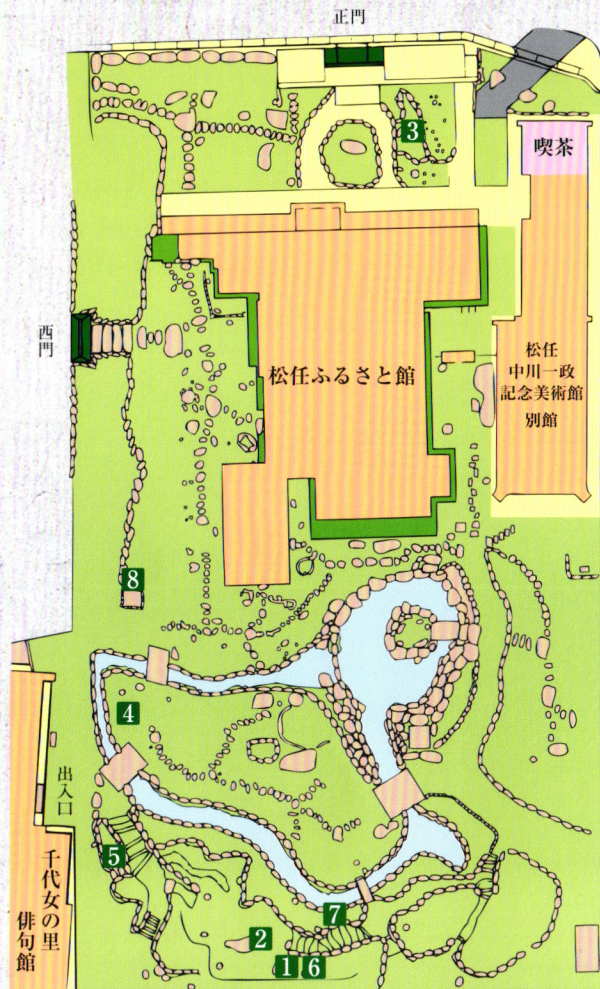
庭園 紫雲園



白山市ふるさと館の庭園「紫雲園」は、前庭・側庭・主庭からなる築山池泉回遊式の日本庭園で、金沢の庭師等により大正元年から12年かけて造られました。「紫雲園」の名前の由来は、豊臣秀吉が好んだとされる全国的にも珍しい紫雲石があることに因んでいます。

前庭には、門正面にある丹波鞍馬の巨石を中心に、シラカシ、松、ヒマラヤ杉などの高木が繁り、西側の露地を進むと、南側に広々とした主庭が開けます。中央部の池を中心に園路を巡り、滝落ちの石組の脇から石段を登った先の築山では、周囲の樹木の間から、松任ふるさと館の主屋を眺めることができます。

四季を通して趣を変えるその風情は美しく、訪れる方々の憩いと安らぎの場として親しまれています。



(面積) 敷地 3,717㎡ 本屋部分 847㎡

石灯籠と庭石配置

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 紫雲石 | 5 二重塔型石灯籠 |
| 2 貴船石 | 6 春日型石灯籠 |
| 3 鞍馬石 | 7 濡鷺型石灯籠 |
| 4 四脚型雪見灯籠 | 8 千代女朝鮮通信使献上句碑 |

1 しうんせき 紫雲石



2 きふねいし 貴船石



3 くらまいし 鞍馬石



4 よんあしのかたゆき みとうろう 四脚型雪見灯籠



5 にじゅうとうがたいしどうろう 二重塔型石灯籠



6 かすががたいしどうろう 春日型石灯籠



7 ぬれさぎがたいしどうろう 濡鷺型石灯籠



8 ちよじょちょうせんつうしん し 千代女朝鮮通信使 献上句碑

